

笛吹市 議会だより

平成30年10月24日発行

2018

Vol.56



市内小学校の運動会



案件一覧表 ②
決算に対する監査意見 ③
平成29年度決算状況 ④
5会派が代表質問 ⑥

5人が一般質問 ⑬
マレーシアトップセールス ⑰
委員会レポート ⑳
市民リレートーク/編集後記 ㉔

平成30年9月定例議会提出案件一覧表

(海野利比古議長を除く)
○賛成 ●反対

種別	案件名	笛新会					誠和会			公明党		笛政クラブ		日本共産党	無党派	結果							
		海野利比古	保坂利定	北嶋恒男	荻野謙一	岩沢正敏	神宮司正人	神澤敏美	武川則幸	小林正彦	中村始芳	古屋昌則	河阪秀哉	中川清美	渡辺恵子		川村敏彦	前島敏彦	大久保俊雄	志村直毅	渡辺正秀	河野智子	野澤今朝幸
条例改正	・空家等対策の推進に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・市立保育所条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度補正予算	・一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・国民健康保険特別会計補正予算（第2号）																						
	・介護保険特別会計補正予算（第2号）																						
	・介護サービス特別会計補正予算（第1号）																						
	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）																						
	・農業集落排水特別会計補正予算（第1号）																						
	・簡易水道特別会計補正予算（第1号）																						
	・境川観光交流センター特別会計補正予算（第2号）																						
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
・水道事業会計補正予算（第2号）																							
・公共下水道事業会計補正予算（第2号）																							
・一般会計補正予算（第3号）																							
平成29年度決算	・一般会計歳入歳出決算認定																						
	・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・介護保険特別会計歳入歳出決算認定																						
	・介護サービス特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定																						
	・簡易水道特別会計歳入歳出決算認定																						
	・境川観光交流センター特別会計歳入歳出決算認定																						
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																							
・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																							
・水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・公共下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・市営春日居地区温泉給湯事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・東山梨環境衛生組合会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他	・過疎地域自立促進計画の変更																						
	・動産の取得（石和学校給食センター配送トラック購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・変更契約の締結（市道1-7号線（影甲斐路線橋）耐震・補修工事（債務））																						
議案第2号 発議	・変更契約の締結（石和学校給食センター建設工事（電気設備）（債務））																						
	・各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人事	・太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・公平委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

〔用語解説〕

※1 請願とは……住民が市政等について直接市議会に要望できる制度。(必ず議員の紹介が必要)

※2 意見書とは……議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することができる。住民代表である議会の総意として尊重される。

平成29年度決算に対する監査意見

代表監査委員 横山祥子

7月2日から7月31日まで、監査委員3人で平成29年度の一般会計・特別会計決算および水道事業会計・春日居地区温泉給湯事業会計、公共下水道事業会計等について、審査に付された決算書および提出された審査資料に基づき審査を執行した結果、それぞれ関係法令に準拠して作成されており、決算計数はいずれも関係帳簿、証ひょう書類と符合し、かつ正確であると認められた。また、決算の内容、予算執行も適正妥当であると認められた。

〔一般会計〕

平成29年度の決算状況は、市税の増加、交付税の減少という中で、地方債の返済や扶助費、補助費、人件費、物件費など法令や性質上から、任意に削ることが困難な経常的費用が高い比率を占めている。今後も、厳しい財政状況が予想されるので、限られた財源を最大限の効果が得られるよう努力されたい。

次の諸点に留意して取り組むことを要望する。

- 1、第二次笛吹市総合計画
- 2、指定管理者制度の検証
- 3、補助金、交付金の適正化

- 4、災害等に対する危機管理体制の強化

次の項目に留意し、継続的な改善と財政運営に取り組まれない。

- 1、市税および料金等の収納率の向上
- 2、随意契約、変更契約、委託業務契約
- 3、危機管理体制の確立
- 4、事務処理の適正化

〔国民健康保険特別会計〕

滞納世帯に対し明確な基準を設け、厳正な対応と収入未済額が縮減されるよう、一層の徴収強化を望む。

〔介護保険特別会計〕

円滑な保険事業運営のため、収納率向上と不納欠損額の縮減に努められたい。

〔介護サービス特別会計〕

要支援者が要介護者とならないため、成果の検証等を行い、結果を反映したサービスの提供が重要である。介護保険料上昇防止のため、積極的な取り組みを望む。

〔後期高齢者医療特別会計〕

滞納額は昨年度より減少しているが、制度を支える重要な財源であり、滞納縮減に向けた努力を望む。

〔農業集落排水特別会計〕

排水処理施設等の維持管理、起債の償還が歳出の主なもので、未収金は公平性の面から収納対策を望む。

〔簡易水道特別会計〕

老朽管の布設替等を積極的に行い、有収率向上を望む。水道料の見直しも行われたが、給水原価に対する供給単価の適正化を進め、健全な経営を遂行されたい。

〔財産に関する調査〕

基金は運用の安全性を確保するため、金融機関の経営状況等の信用格付情報を入手し慎重な運用に心掛け、適正な管理が行われている。

〔水道事業会計〕

給水原価に対する供給単価が不足し、多くを一般会計からの補助金に依存している。未収金は前年度より減少しており、29年度から料金担当業務を民間委託したことによる効果

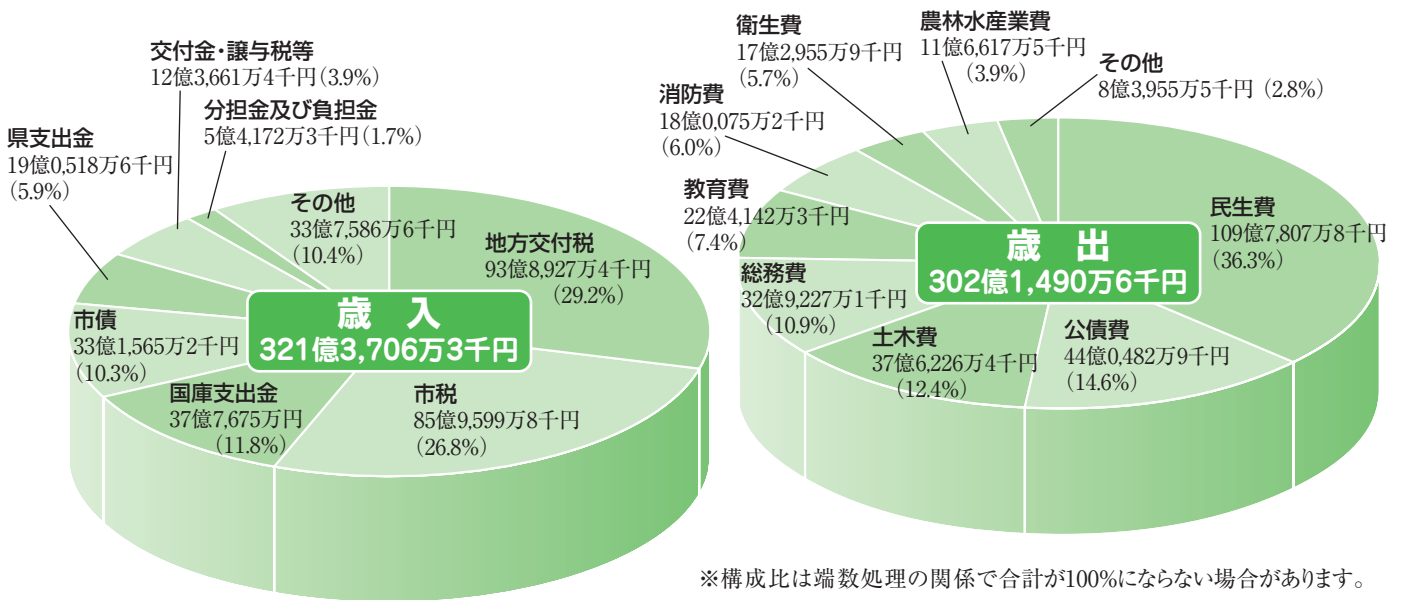
と思われる。引き続き人口減少社会を見据え、公営企業として健全な事業経営遂行を望む。

〔春日居地区温泉給湯事業会計〕

未収金は前年度より増加している。規定に基づく督促状の発送、戸別徴収の強化など、公平性の面から滞納縮減の取り組みを望む。市の温泉給湯事業は、収益増が見込めない中、施設の維持管理に向けた事業費用の増加も予想されるので、公営企業として将来を見据えた事業経営を遂行されるよう望む。

〔公共下水道事業会計〕

企業債残高が151億円余あり、決算額の大きな割合を占める。また、汚水処理原価に対する使用料単価が不足し、一般会計から多額の基準外繰入金に依存している。厳しい経営状況だが、実質的な収益向上と安定経営に向け、経営努力する必要がある。業務改善、合理化等による経費の削減に努め、公営企業として健全な事業経営を遂行できるよう望む。



歳入

- 地方交付税** 国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
- 市税** 市民税、固定資産税、軽自動車税、タバコ税など
- 国・県支出金** 国や県から交付される補助金など
- 市債** 道路や施設などを整備するための市の借金
- 交付金・譲与税等** 国や県が集めた税金を市に交付・譲与するもの
- 分担金及び負担金** 事業加入者分担金や施設入所者の負担金など
- その他** 繰越金、繰入金、財産収入、寄付金など

歳出

- 民生費** 老人福祉、児童福祉、障害者福祉など
- 公債費** 市債を返すための費用
- 土木費** 道路の新設整備や改修、河川の整備、市営住宅の管理、公園整備や管理など
- 総務費** 交通・防災の安全対策、広報活動、庁舎の管理、戸籍事務、選挙等の経費など
- 教育費** 小中学校や保育所の教育環境の整備、スポーツ・生涯学習など
- 衛生費** 健康予防、子育て支援、環境衛生、疾病予防、水道などの経費
- 農林水産業費** 農業・林業等の振興及び整備
- 消防費** 消防、災害復旧、諸支出金
- その他** ● 諸支出金：基金への積み立て ● 商工費：商工業の振興 ● 議会費：議会運営費など

特別会計・事業会計決算状況

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険特別会計		103億4,210万5千円	98億3,288万7千円
介護保険特別会計		66億0,366万円	63億6,742万9千円
介護サービス特別会計		2,316万1千円	1,562万7千円
後期高齢者医療特別会計		14億2,073万1千円	14億1,095万2千円
農業集落排水特別会計		4,628万1千円	4,160万9千円
簡易水道特別会計		1,693万8千円	1,442万1千円
笛吹市境川観光交流センター特別会計		5,479万8千円	4,696万9千円
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計)		5,410万7千円	464万7千円
水道事業会計	収益的収入及び支出	16億7,450万6千円	16億6,483万円
	資本的収入及び支出	4億5,634万1千円	9億6,406万3千円
公共下水道事業会計	収益的収入及び支出	20億1,573万円	19億4,872万2千円
	資本的収入及び支出	9億2,793万5千円	16億4,654万8千円
春日居地区温泉給湯事業会計	収益的収入及び支出	7,003万2千円	6,216万9千円
	資本的収入及び支出	0円	0円

※収益的及び資本的収入が支出に不足する額は補てん財源で措置

平成29年度一般会計決算

歳入総額 321億3,706万3千円

歳出総額 302億1,490万6千円

平成29年度決算 おもな使いみち

市営住宅石和四日市場団地建替事業 1億9,432万円

老朽化した住宅の居住環境の向上、地域環境の改善及び防災性を高めるため、四日市場、広瀬、長塚の3団地を四日市場団地に集約する。



※事業予算額3億5,150万円のうちH29年度支出分

俳句の里づくり推進事業 758万円



第21回笛吹市小中学生俳句会の開催。俳句イベントなども開催した。「山廬(さんろ)俳諧堂(はいかいどう)」復元事業について、29年度は、後山(ごさん)遊歩道の整備事業を支援した。

※事業予算額769万円のうちH29年度支出分

出張所庁舎整備事業 5億2,584万円

消防署出張所の老朽化に伴い、平成27年度に行った「消防出張所適性配置調査」の結果に基づき、28年度、市内の東部(一宮町新巻地内)と西部(境川町石橋地内)の2ヶ所の用地を取得した。平成29年度に出張所を建設。



※事業予算額5億5,694万円のうちH29年度支出分

学校給食センター建設事業 5,675万円



石和地区の小学校5校を対象とする学校給食センターの建設事業について、平成31年度の稼働開始に向け、石和町砂原地内の市多目的広場に建設する事業計画

※事業予算額13億7,979万円のうちH29年度支出分

労報橋及び周辺道路整備事業 1億8,531万円



平成28年度から橋の架け替え工事に着手しており、H29年の秋に完成。また、NTT用地の購入に伴い労報橋周辺道路を整備。

※事業予算額2億2,328万円のうちH29年度支出分

観光イベント事業 9,162万円



笛吹市桃源郷春まつり、笛吹川石和鶺鴒、夏まつり、ハウス桃園、花見等のイベント事業実施。平成28年度より老朽化した鶺鴒飼育施設の建設を検討してきた。鶺鴒の生育環境、飼育環境、利活用を検討し建設地を決定し、鶺鴒飼育施設「うかい屋」を建設計画

※事業予算額1億1,222万円のうちH29年度支出分

- 笛新会 保坂 利定議員 …6
- 誠和会 中村 正彦議員 …7
- 公明党 中川 秀哉議員 …8
- 笛政クラブ 志村 直毅議員 …9
- 日本共産党 渡辺 正秀議員 …11

9月
定例議会

市民の声

質疑および代表質問

9月定例議会では、5会派を代表して5人の議員が質疑および代表質問に立ち、17項目について市当局の考えをたどりました。以下の記事は質疑・質問と答弁を要約したものです。



笛新会

保坂 利定 議員

問 29年度決算は

保坂利定議員 ① 29年度決算の評価は。

- ② 財政指標の決算分析と今後の財政健全化対策は。
- ③ 合併特例債の借入状況と今後の活用策は。
- ④ 各種基金の現状と活用策は。

答 3年連続の黒字

山下政樹市長 ① 市税の収

- 納率向上、歳出の抑制に努め、実質単年度収支が3年連続で黒字となったことは、評価できると考えている。
- ② 実質公債費比率は前年対比0.2ポイント改善し12.9%、将来負担比率は3.2ポイント改善し67.2%、経常収支比率は3.6ポイント改善し88.9%。

決算状況と経営健全化は。

答 健全化の努力を継続

山下市長 ① 農業と観光業

- の更なる成長を促進し、企業誘致を積極的に推進し市税増収を図り、各種料金徴収強化、自主財源の確保に努める。
- ② 定員適正化、事務事業の見直し、施設の適正配置などを進める。
- ③ 特別会計への繰出金総額は前年度並み。公営企業会計については、今年度からの料金値上げを踏まえ、基準外の補助金を減らすよう努めている。

問 人口ビジョン、まち・ひと・しごと総合戦略は

保坂議員 ① 市の人口の現

- 状は。
- ② 総合戦略の取り組みの評価と、今後の取り組みは。

答 目標達成に努める

山下市長 ① 30年1月1日

- 現在、70、069人。前年より352人減。外国人

問 第2次総合計画は

保坂議員 ① 子育てしやす

- いまちづくりは。
- ② 教育相談事業の状況とふえふき教育相談室は。
- ③ 国民健康保険事業は。
- ④ 障がい者の就労支援事業は。
- ⑤ 子どもの未来を見据えた学校教育の充実は。
- ⑥ スポーツ少年団の活性化と指導者の育成は。
- ⑦ 国分寺、国分尼寺保存整備事業は。
- ⑧ 春、夏まつりの検証と課題は。
- ⑨ 鳥獣害対策は。
- ⑩ 企業誘致の推進は。
- ⑪ 防災情報伝達設備の現状と今後の整備方針は。
- ⑫ 有料ごみ袋導入は。



答 着実に推進する

- 山下市長** ①子育て世代住宅取得補助金、子どもすこやか医療費助成を実施。本年度、体調不良児対応型病児保育事業を準備している。
- ②相談件数は延べ1、328件。教育相談員3人、自立支援員1人を配置している。
- ③30年1月1日現在の被保険者は18、892人。今後の賦課方式は協議会に諮り決定する。保険税の収納実績は昨年度よりアップして、現年度分95・3%、過年度分22・5%。健診受検率や特定保健指導実施率の向上、糖尿病予防に取り組み医療費削減を図る。
- ④4月1日現在、就労支援サービスの利用は137人。32年度を目標に、笛吹市障がい者基本条例の制定に取り組んでいる。
- ⑤小学校外国語アシスタント事業、部活動指導員任用等に取り組んでいる。小学校統合は慎重に対応。
- ⑥アクティブ・チャイルド・プログラム

- ド・プログラム
- ⑦国分寺発掘調査の報告書を31年度に完成させる。国分尼寺は、文化庁、県と協議を進め、保存、活用を検討する。
- ⑧春まつりは、全国紙の記事の反響等で例年以上の来訪者があった。
- ⑨獣害防止柵の総延長は107km。今後はシカ対策用にフェンスのかさ上げを行いたい。
- ⑩9カ所の農工団地に28社が雇用されている。3社が操業に向け準備している。
- ⑪防災無線子局は273カ所。電話での聞き取りサービス、防災無線メールの活用等を周知させる。
- ⑫昨年は前年度比で、可燃ごみは13・6%減量した。分別が進み、資源ごみは増加で分別が進んでいる。

問 笛吹市 国際推進指針は

保坂議員 ①指針の見直しは。

- ②多文化共生の取り組みは。

- ③教育、文化の取り組みは。
- ④関連団体と連携した組織の設立は。
- ⑤在住外国人との協働事業において、2020年オリパラ、ホストタウン活用対策の考えは。

答 新たに策定する

山下市長 ①総合計画に基づき新たな指針を策定する。

- ②多言語のガイドブックに日本語を併記し、職員が窓口対応等で活用できるように改定した。
- ③中国天津市和平区と教育交流協定を交わし、毎年子どもたちを招き、市内の小学校で交流を深めている。生涯学習においても外国文化に触れる機会を提供している。

- ④各団体にはさまざまな考えがあり、現状では組織化の取り組みは停滞している。新たな指針の策定と併せ研究する。
- ⑤関係部署で連携しながら検討したい。

問 みんなの広場は

保坂議員 今後の具体的なスケジュールは。全天候型多目的広場整備の考えは。

答 32年4月に 供用開始したい

山下市長 11月から基本設計

計に着手、31年3月末までに実施設計と開発協議を完了させたい。7月を目途に工事着手、31年度中の完成を目指し、早ければ32年4月に供用開始したい。

膜構造の屋根の設置も含め、イベントスペースとして具体的な整備内容を決定したい。



農産物消費拡大(東京大田市場)



誠和会

中村 正彦 議員

問 29年度決算と市政は

中村正彦議員 ① 29年度決算の特徴は。
② 枠配分予算による事業執行の長所と短所は。
③ 目標を達成できなかった事務事業と理由は。
④ 補正予算における予算編成方針との整合性は。



⑤ 繰越事業は。
⑥ 地区要望の土木工事は。
⑦ 合併協定項目の進捗状況は。
ア 消防委員会の設置は。
イ 道路などの未登記用地は。
ウ 地籍調査事業の認証は。
エ 小中学校の通学区域、適正配置は。
⑧ 第4次行財政改革大綱は。
ア 第3次行財政改革の実質的な成果は。
イ 定員および臨時職員の削減計画は。
ウ 職員研修の計画内容、受講者数と成果は。
エ 人事評価制度と成果は。
⑨ 笛吹みんなの広場は。
ア 足湯ひろばや御朱印公園との相乗効果は。
イ 経済活性化策は。

答 財政指標は改善

山下市長 ① 歳入が約19億2、000万円減、歳出が約21億8、700万円減と大幅に減少した。実質収支は約16億9、000万円の黒字、単年度収支および実質単年度収支も黒字。実質公債費比率12・9%、将来負担比率67・2%、経常収支比率88・9%、いずれも前年度より改善した。
② 効果的、効率的な財源配分と事業執行ができた一方で、枠配分財源として的一般財源の減少による予算硬直化が課題と考えている。
③ 177事業の内、14事業の目標は未達成。特定健診、国保人間ドック、後期高齢者歯科口腔検診、公園利用、耐震診断、サイン整備、浸水対策、学生ボランティア活用など。健診など10事業は周知啓発の浸透不足、他大雨の影響等の外部要因が理由。
④ 補正予算の主な内容は、災害復旧費、前年度事業費

確定に伴う還付など。予算編成方針に沿っている。
⑤ 33事業を30年度に繰り越した。約27億5、000万円、決算額の9・1%。国の補正予算により平成30年2月に内示を受けた石和学学校給食センター建設事業など12億8、300万円を計上したこと、用地交渉の遅延が理由。
⑥ 該当工事は18件。用地費、補償費の予算措置は約9、000円。
⑦ ア 特段諮問すべき事案がないため消防委員会は未設置。現役の消防団幹部の意見も聞く中で検討。
イ 短期間での解消は困難、土地の異動が予想される箇所を優先し解消に努めている。
ウ 地籍調査が完了。未承認は、石和、御坂、八代、境川の11地区。全地区完了の見通しは立っていない。
エ 芦川小学校を市の全域から通学可能とする「特認校」化の準備を進め、来年度実施を予定。適正配置については、将来的には統廃合も視野に入れ慎重に検討

する。
⑧ ア 市税等の収納率は、25年度の85・7%から29年度は90・4%に上昇した。事務事業の見直し、定員適正化により1億8、000万円の歳出削減を行った。
イ 30年度中の策定を目指して取り組んでいる。臨時職員についても、適正化に努める方針。
ウ 29年度、市町村研修所での受講者は延べ253人、庁内で18研修を開催し延べ2、556人が受講。市町村アカデミー等での県外専門研修にも積極的に取り組んでいる。
エ 年初の目標設定、中間、年度末の年3回の評価者との面談等を実施。処遇反映の基礎としている。
⑨ ア 各公園の利用者層が異なることから、整備方針の中で相乗効果は想定していないが、市民からの柔軟な発想、ご提案は歓迎する。
イ 多彩なイベントの開催により、にぎわいを創出し、人々の交流を促進させる。



公明党

中川 秀哉 議員

問 安心・安全な行政サービスは

中川秀哉議員 ①ア 29年度決算状況と主要事業の事務事業評価は。

イ 防犯灯設置維持管理事業、LED導入・交換の進捗状況は。

②図書館の今後の在り方は。ア 図書貸出し数減少の原因と課題は。

イ 本市関連の偉人、有名人に関する書籍の周知は。

ウ インターネットの普及に対応した図書館の活用は。

エ 公共施設等総合管理計画における図書館は。

オ イオン石和店は。中央図書館の計画は。

③ごみ減量化対策は。ア 分別状況と外国人への周知は。

イ 有料指定ごみ袋の価格、

売益の運用、効果、4市共通のごみ袋の取り組みは。

ウ 生活弱者向けサービス事業は。

エ 公共施設への分別リサイクルステーションの設置は。

答 92%の事業が目標を達成

山下市長 ①ア 実質収支は16億9、150万円、実

質単年度収支も3年連続で黒字となった。177事業の内、92%が目標を達成した。

イ 交換対象の7、200基に対し、40・8%の2、

937基を更新した。本年度決定分の1、763基を加えると、進捗率は65・3%になる見込み。

②ア スマートフォンの普

及等の影響で、ピークの21年度の70万点から、29年度は48万8千点に減少している。子どもの読書活動推進に重点を置き、ブックスタート事業や保育所、学童保育、児童センターへの団体貸出し、新入学児童への利用カード作成や記入式の読書通帳の配布も行っている。

イ 笛吹市にゆかりのある著名人に関する書籍を登録し、関連の深い地域の図書館を中心に特設コーナーを設置している。ホームペー

ジ等の取り組みも充実させる。境川図書室には飯田蛇笏・龍太関連資料1、200点を所蔵している。

ウ パソコンやスマートフォ

ンからの蔵書検索、WEB登録しての予約や新着情報の配信サービスを行っている。

エ 6カ所の図書館は複合施設に設置されている。利用状況等を踏まえ、現状の形態で存続すべきか検証する必要はある。

オ 7月9日付で笛吹市商工会長から、市長あてにイオン石和店の建物活用に関する要望書が提出されている。情報を整理し、状況を把握したうえで、今後の対応を検討する。

③ア 可燃ごみは週2回、粗大ごみは2カ月から4カ月に1回、資源物は月1回、ミックスペーパー、その他

は困難。

ウ 家庭内の片付けなどの支援は、訪問介護事業者やボランティアにより、有料、無料のサービスが展開されている。高齢化の進展に伴い、共助の考え方による支援も含め、ごみ収集のあり方について検討していきたい。

石和温泉駅前イオン



代表質問



笛政クラブ

志村 直毅 議員

問 29年度決算と今後の財政運営は

志村直毅議員 ①決算評価と財政運営の総括、今後の財政運営は。
②市税収納率が90・4%に向上した要因は。8・3億円
③純行政コストの金額は。行政コスト対税収等比率と評価は。
④性質別歳出の削減目標は。
⑤今後の中長期的な見通しは。

答 行財政改革を継続

山下市長 ①市税収納率の向上、歳出削減、3年連続の黒字、財政指標の改善が図られた。今後も農業、観光業等の振興、企業誘致の推進、事務事業見直し、公共施設の適正配置等に努め

る。

②滞納処分の積極的な執行、完納・分納誓約の折衝に職員が努力した成果。
市民税1億7、900万円、固定資産税5億9、300万円、軽自動車税1、900万円、入湯税3、700万円。
③31年度第1回定例会に報告すべく計算書を作成する予定。
④長期財政推計の数値が目標。
⑤普通交付税が一本算定化するため、財源確保が厳しくなる。社会保障関連の歳出の増加が続く。更なる行財政改革に努める。

問 防災の取り組みは

志村議員 ①今後の防災訓

練の課題は。

②地域の放送設備の維持管理と支援策は。
③地震と大雨によって異なる避難所の周知と対策は。
④地域の一時避難場所等における支援策は。

答 避難所開設訓練を実施した

山下市長 ①避難所運営のマニュアル作成が課題。
②放送設備は行政区が設置、管理している。宝くじの助成事業の活用等で整備をお願いしている。
③指定避難場所は29年度に見直した。今後は、ハザード

ドマップにわかりやすく記載し、広報紙にも掲載する。
④各行政区が適切な場所を選定してほしい。

問 笛吹みんなの広場整備は

志村議員 ①広場整備のイメージ図が示されたが、さらなる市民や団体意見の反映や施設設備の検討を。
②マンホールトイレは。
③公園と駐車場の管理方法は。

答 指定管理方式

山下市長 ①整備方針の説



7月に行われた指定避難所での運営訓練 (石和西小)

問 障がい者施策は

志村議員 ①市の雇用率2・76%の部局別内訳は。非正規職員の雇用率は。
②親なき後の障がい児者の生活と自立支援は。

答 峡東3市で連携

山下市長 ①市長部局2・45%、教育委員会5・08%。臨時職員・嘱託職員は、専門性の高い非常勤の職種として任用している状況であるため、制度の対象としていない。
②峡東3市が連携し、「地域生活支援拠点」を広域的に整備していきたい。



問 産業振興は

志村議員 ①笛吹物語、観光事業の新たな取り組み、周遊観光や「また訪れたくなるまち」の課題と取り組みは。

- ②地域資源の連携、相乗効果は。
- ③中小企業支援へのBizモデル導入は。
- ④耕作放棄地は。新規就農、農地集積等の活用は。

答 イベントは盛況

山下市長 ①笛吹物語は春編・夏編ともメディアに取



昨年の「ヌーボーde乾杯!カウントダウン」

り上げられ、どのイベントも盛会に終わった。日本一

桃源郷ウォークの充実、桜温泉通りの改植、川中島合戦戦国絵巻の秋開催などの実現に取り組んでいる。周遊観光については、二次交通の整備が課題。

- ②「葡萄酒が織りなす風景」が日本遺産に認定された。峡東3市で映像コンテンツ等を共同制作する。
- ③f・Biz等の手法を今後研究する。
- ④遊休農地は211畝、農地の5・14%。就農者は27年度36人、28年度43人、29年度56人。29年度の農地集積は55・7畝、811筆。

問 教育環境の向上は

志村議員 ①学校教育ビジョンの見直し作業は。

- ②給食費徴収の一元化、公会計化の検討は。
- ③熱中症対策、普通教室以外へのクーラー設置は。

答 精査し特別教室のクーラー設置を進める

山下市長 ①改訂委員会の

ワーキンググループが議論し、年度末までに作業を完了する予定。

- ②事務体制の整備、徴収率低下への対策等を踏まえ、検討する。
- ③時間割の組み替えや部活動の時間制限等細心の注意



日本共産党

渡辺 正秀 議員

問 公営企業会計の納付消費税額は

渡辺正秀議員 ①笛吹市の水道事業会計は、類似の規模、財政構造を持つ他市と比べ、納付消費税額が大き

い。ア 出資金を特定収入としたことにより消費税納付額が増加した。経緯と金額は。イ 早急に「更正の請求」をすべきだ。請求期限前についても、他の法律で還付請求すべきでは。

②公共下水道会計は。

を払っている。クーラーは必要性の高い保健室、職員室、中学校の音楽室には今年度すべてに設置が終わつた。その他の特別教室は、学校側と協議し、必要性を精査した上で順次設置を進めていく。

との指導を受け、特定収入として申告している。16年度から29年度の合計、35億7,000万円。

- イ 請求する場合は、法定申告期限から5年以内。出資金の会計処理が適正かも含め、更正の請求の可否を
- ② 事務署、専門家と協議し適切に対応する。

問 総括原価方式と水道料金値上げは

渡辺議員 笛吹市の水道料金は、給水原価を料金収入で賄う方式から、資産維持費も含む総括原価方式への変更により、30年度から24・7%、34年度にはさらに20%引き上げられる。29年度の1・5倍になる。

答 税務当局と協議

山下市長 ①合併時より、旧簡易水道事業の起債の償還金、広瀬ダム水利権購入、境川浄水場、御坂浄水場建設費の一部を一般会計から「出資金」として負担して

いる。ア 平成23年度、山梨税務署により、本市の出資金は補助金・繰越金に該当する

ウ 総費用額は。

- ① 総括原価方式の採用と周知は。
- ② 値上げの算定根拠は。
- ア 長期前受金戻入額は。
- イ 資産維持費が新たに費用に含まれる。金額は。
- ウ 総費用額は。

代表質問



エ 総括原価方式で経費増となるのでは。

- ③ 総括原価方式の問題点は。
- ④ 2022年の再値上げは。

答 適正な算定方法

山下乡長 ① 28年度から29年度にかけ、上下水道審議会で料金改定を審議した過程で採用した。答申後、区長会、地域審議会、まちづくり座談会で説明してきた。

② ア 総括原価方式の算定要領では原則控除しないとされている。年間約2億円。イ 期首期末の平均残高の3%、年間約6、600万円。



ウ 15億6、700万円。

エ 資産減少や工事施工環境の悪化等に配慮した適正な算定方式と考えている。

③ 更新財源確保を図る。維持費は必要最小限。民営化の準備ではない。

④ 独立採算を目指すため再改訂は避けられない。

問 石和第3保育所の完全民営化の説明資料は

渡辺議員 民営化により財政削減効果を見込んでいますが、実際は普通交付税額が減り、負担増になるのでは。

答 基準財政収入額も考慮すべき

山下乡長 普通交付税は、基準財政需要額と基準財政収入額の差額分が交付される。需要算定額がそのまま交付されるわけではない。

山梨県市議会議長会前期研修

8月10日(金)、「平成30年度山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)がアピオ甲府(昭和町)にて開催されました。県内市議会議員及び事務局員が参加し、富士市産業支援センターf-Bizセンター長 小出宗昭氏を講師に迎え「地域ビジネスによる地域活性化」と題して講演を受けました。



6月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

9月定例議会では、5人の議員が質疑および一般質問に立ち、市の考えをたどりました。以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問



- 渡辺清美議員** ①安全性に問題のあるブロック塀のある学校数は。
②法定外の施設、安全点検は。
③工事着手までの期間の安全確保は。
④マニュアルに基づく通学路確認は。
⑤安全性に問題ある通学路の対応は。
⑥民間の塀の撤去費用支援は。
- 須田教育部長** ①3校のブロック塀が建築基準法施行令に不適の状況。
②遊具の「的あて」は、6校の施設で改修や解体工事が必要と判断。
③工事は完了、工事着手までは安全対策を行った。
④毎年PTAと連携し通学路安全点



渡辺清美議員
(公明党)

問 通学路等安全性確保の推進は

答 学校指導を徹底

検を実施、災害時の危険性に一層留意する。

- ⑤子ども達が自身で安全確保できるよう学校指導を徹底したい。
⑥市民にブロック塀の安全対策を注意喚起し、改善を促す。

問 不育症周知と

患者支援推進は

渡辺議員 ①不育症について、市の認識は。

- ②窓口体制の充実、周知啓発は。
③治療費助成制度の考えは。

答 山梨県の治療費助成制度を案内

飯島保健福祉部長 ①不育症に関する相談の事例はないが、深刻な問題と認識している。

②県の相談機関「ルピナス」のリーフレットを窓口に着用、案内している。

③現在では市制度は検討していない。不妊治療と不育症治療は重なる部分があり、県の助成制度の案内を継続する。



河野智子議員
(日本共産党)

問 防災意識啓発の内容は

答 広報誌で啓発、出前講座も実施

河野智子議員 ①新地域防災計画の変更点は。

②防災情報の伝達と対策は。

③連絡方法のＬアラートとはなにか。

④避難しない人に対する対策は。

小澤総務部長 ①指定避難所の見直しと避難所の自主運営項目を記載、大規模水害への対応として広域避難の考えも取り入れた。

②建物内では防災行政無線が聞きにくいのが課題と認識しており、防災情報伝達状況調査を今後検討する。

③各種メディアと災害情報を共有するシステムで、緊急速報メールやテレビ、ラジオ、ネットで情報を発信。

④地域で積極的に避難を開始するよ



地域での防災訓練

う促す活動を進めることが重要。

問 18歳までの医療費無料化を

河野議員 ①学校健診で治療が必要とされた子のその後の調査はしているか。結果は。

②高校生までの医療費はどの程度か。

③医療費無料化の年齢拡大は。

④給食費と医療費同時無料化の考えは。

答 国・県に拡充を求める

飯島保健福祉部長 ①29年度に小中

学校で調査、治療完了は小学校5割、中学校で3割程度。

②29年度実績で未就学児約1億2、700万円、小学校低学年約5、250万円、高学年約4、830万円、中学生約4、750万円。高校生は医療費助成の対象外のため把握できていない。

③国・県に拡充を求め要望している。

④給食費は保護者負担と考えており、現時点での高校生医療費との同時の無料化の考えはない。

岩沢正敏議員 農業を取り巻く状況は厳しい。安心して生産に励めるように、市に期待する。



岩沢正敏議員
(笛新会)

問 市の農業課題は

答 農業塾等で相談活動を進める

①農産物生産と販売の把握は。

②現在の農業生産量を維持・確保するための必要な施策は。

ア、地域ビジネス活性化「f・Biz」を農業塾に生かす方法は。

イ、耕作放棄地が増えている。優良農地を守る方策は。

ウ、鳥獣害対策の状況、設置済み装置の評価は。

エ、市長のトップセールスの状況と感想、販路拡大は。

オ、異常気象対策の内容と、果実・野菜の安定供給に向けた取り組みは。

③農産物直売所、観光農業の現状と将来の見通しは。

小宮山産業観光部長 ①モモの収穫量は横ばい、ブドウは近年、生産額も回復傾向、スモモも昨年と同程度野菜全般では、概ね昨年並み。

②ア、農業塾において「f・Biz」の取り組みの活動内容やノウハウを研究し活用できる部分は取り入れる。

イ、農地利用促進事業の取り組み。第



シャインマスカット

三者継承も視野に入れ農業塾などで相談活動を進める。

ウ、特にシカの捕獲数が増加、防護フェンスは延長で107km、囲いワナも実証実験中で、有効性を確認。

エ、市場関係者からは高評価、海外では富裕層向けモモ、ブドウの販売強化。

オ、施設栽培は安定生産に有効。

③観光農園と契約栽培農家の今後は、経済状況に左右されやすく予想は難しい。4つの農産物直売所は指定管理者が運営、民間のノウハウで独自運営する方向で検討。



武川則幸議員
(笛新会)

問 行政運営の定員適正化は

答 さらになる適正化に取り組む

武川則幸議員 ①第3次定員適正化計画の運用結果は。

②今後の適正化計画の策定予定は。

③職員採用試験案内には、5職種で若干名の採用とあるが、人数は。

④現在の職員数は386人、事務事業の見直しや組織改革で、350人程度を目指す考えはないか。

小澤総務部長 ①25年度から29年度の5年間で職員数を33人削減、職員数595人で目標を達成している。

②30年度中の早期策定を目指す。

③一般行政職10人程度、土木職、保健師、保育士を1人程度、消防職は退職者2人の補充の予定。



問 第二農免(みやさか道)整備は

答 早期完成目指し努力

④合併時488人が、本年4月現在109人減の379人、事務事業の見直しに即応した人員の配置、外部委託等、さらに適正化の取り組みを進める。

問 第二農免(みやさか道)整備は

武川議員 県営基幹農道整備事業の一宮町千米寺から、境川町小黒坂までの約10kmの第二農免道路は、早期の整備が求められている。理解が得られていない地権者が数名いるが、今後の取り組みを伺う。

答 早期完成目指し努力

小宮山産業観光部長 県営基幹農道整備事業で、市が協力し県が事業主体で整備している高規格農道。一宮町、御坂町、八代町の一部地権者の理解が得られず、事業遅延。一部は来年度の暫定供用開始に向け進めている。その他土地収用法の手続きを進めており、早ければ来年度末の完成予定である。



北嶋恒男議員
(笛新会)

問 笛吹市水害への減災対策は

答 レアライト等で情報伝達

(※レアライトについては14ページ参照)

北嶋恒男議員 ①笛吹川の氾濫が想定される場合の避難体制、本庁舎の地下倉庫、市役所機能等の対策は。

②学校給食センターエリアが大洪水で浸水した時の備品・機器類の対策は。給食を作れない場合の対応策は。

③豪雨、土砂災害などに関する学校教育の学習内容は。

小澤総務部長 ①浸水想定地域に避難勧告を発令、防災行政無線とレアライトで情報伝達し、行政区の役員に連絡をとり避難を呼びかける。本庁舎等の地下倉庫、機器類については

は早急に対応を検討。支所の中から業務遂行可能な施設を選定し、業務継続計画に基づき対応。

須田教育部長 ②簡易的な給食で対応。他の給食センターと連携をとる。

③副読本での学習や、理科、社会科の授業で災害について学ぶ。

問 高齢者に快適なスポーツ環境を

北嶋議員 ①グラウンドゴルフは市内に多くのチームがある。緑の芝、屋根のある交流の場も設け、大会競



技ができるよう整備を望む。
②市内には4つのゴルフ場がある。75歳以上のプレーヤーに、支援する方法は考えられないか。

答 施設再編整備を検討

須田教育部長 ①体育施設全体として効率的、効果的に運営・管理するための施設再編整備を検討していく。
②高齢者の健康増進対策として、ゴルフプレーヤーに対する支援は考えていない。市民が身近な地域で自主的に取り組む介護予防の普及を通じ、健康増進を目指す。

9月議会・会期日程

8月27日(月)

・議会運営委員会、全員協議会

9月3日(月)

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・提出議案の説明

・決算審査報告

9月11日(火)

●本会議

・質疑および代表質問

9月12日(水)

●本会議

・質疑および一般質問・付託

9月14日(金) 18日(火)

・各常任委員会 付託事件審査

9月21日(金) 25日(火) 26日(水)

・各常任委員会 付託事件審査

(決算認定)

9月27日(木)

・総務常任委員会 付託事件審査

10月2日(火)

・議会運営委員会、全員協議会

●本会議

・各委員会の審査報告

・討論・採決

・追加提出議案の説明

・質疑・採決

■閉会

議会日誌 GIKAI diary

6月 June

1日 春日居町納涼盆おどり大会実行委員会

4日 議会運営委員会、全員協議会、議会広報編集委員会

9日 稲山ほたる銀河の会「ほたる祭り」

11日 第2回定例会本会議(開会)、議会広報編集委員会

19日 第2回定例会本会議(質疑及び一般質問・付託)

22日 議会常任委員会、山梨県防犯協会笛吹支部定期総会

25日 農産物等消費拡大宣言事業(東京大田市場他)
議会常任委員会、現地視察(教育厚生常任委員会)

28日 鶴小屋竣工式、笛吹市体育協会総会

29日 議会運営委員会、議会全員協議会

第2回定例会本会議(最終日)、議会広報編集委員会

30日 第8回石和温泉郷クラシックカーフェスティバル2018



7月 July

2~3日 全国桃サミットinふくしま

5~6日 農産物等消費拡大宣言事業

6日 水辺で乾杯2018、桃の里マラソン大会実行委員会

8日 第58回御坂会定期総会、山身連市町村議会議員懇談会

12日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会

13日 新春交歓会・受章者祝賀会発起人会

14日 わがまちの8月15日展

17日 東山梨行政事務組合議会 臨時会 全協 本会議

18日 渋川改修促進期成同盟会総会

20日 笛吹川石和鵜飼開き

23日 西関東連絡道路整備促進期成同盟会監査

第51回甲府笛吹富士河口湖富士吉田線促進期成同盟会総会

24日 定例全員協議会

25日 山梨県消防団員操法大会激励式(御坂分団出場)

28日 笛吹市学年別剣道選手権・スポーツ少年団剣道大会

8月 August

1日 笛吹市マレーシアトップセールス参加説明会

3日 山梨県高速道路整備促進期成同盟会総会

5日 第49回石和温泉柔道大会・第54回笛吹市スポーツ少年団大会

7日 山梨グルメフェア「ぶどうEXPO2018」

8~11日 海外トップセールス(マレーシア)

9日 栃木県那須烏山市議会経済建設委員会視察研修(受入)

10日 県市議会議長会議員合同研修会(前期)

15日 春日居納涼盆おどり大会

16日 甲斐いちのみや大文字焼き

23日 西関東連絡道路整備促進期成同盟会

アセアン各国大使館関係者交流会

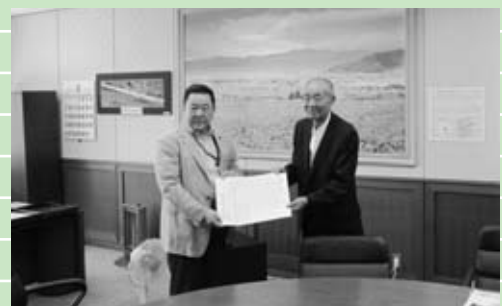
24日 商工会と議会関係者の意見交換会

27日 議会運営委員会、議会全員協議会、議会広報編集委員会

28日 東八代広域行政事務組合議会 全員協議会 第2回定例会

29日 四日市場団地竣工報告会

31日 笛吹市シルバー人材センター要望書提出



笛吹フェア

マレーシア

8月8日～11日

トップセールス

議会を代表し市議会議長、建設経済常任委員会の正副委員長および市長、農林振興課・観光商工課職員、JAふえふき組合長他関係役職員で、「トップセールス・ふえふきフェア」を行った。



今回の訪問は、笛吹市特産の桃・ぶどうをマレーシアへ販路拡大するため、クアラルンプールのPUBRIKAモール店、Jaya Grocer二か所のショッピングモールで、試食販売・桃のプレゼント等を実施した。日本一の生産量を誇る当市の桃・ぶどうは、どの会場においても高評価を受けた。



マレーシアは日本との友好関係があり、約33万km²(日本の約90%)の面積で、人口は3,200万人(日本の25%)です。将来は人口増加が期待され、その中でも特に富裕層をターゲットに、販売高増加が見込める。



今後も、両国の友好関係をさらに発展させ、市産果実の輸出拡大で市農業振興の一助となることを期待しています。

意見書

太陽光発電設備の立地規制等に 係る法整備等を求める意見書

電力は国民経済の発展に
欠くことのできないもので
あり、福島第一原子力発電
所事故以降、電力供給が逼
迫しているため、再生可能
な自然エネルギー発電の導
入拡大など、需給構造の大
胆な改革は焦眉の急である。
峡東地域は「葡萄畑が織り
なす風景」ならびに「星降
る中部高地の縄文世界」が
平成30年5月24日に文化庁
の「平成30年度日本遺産」に
認定された。

事項を早急に講じられるよ
う、強く要望する。

こと。

1、太陽光発電設備につい
て、景観、環境および防災
上の観点から適正な設置が
されるよう、立地の規制等
に係る法整備等、所要の措
置を行うこと。例えば、地
域で重要な田園風景や自然
環境が残る場所、住民が著
しく危険を感じる場所など
は、市町村長の意見を聴い
た上で、特例的に立地を規
制すること。

4、発電事業終了時や事業
者が経営破綻した場合、パ
ネル等の撤去および処分が
適切かつ確実に行われる仕
組みを整備すること。

以上、地方自治法第99
条の規定により意見書を提
出する。

山梨県笛吹市議会

議長 海野 利比古

今後の太陽光発電設備の
設置に伴い、急斜面の山林
を伐採して設置されるほか、
農地や住宅地の中に周辺環
境や景観と調和せず設置さ
れるなど、自然環境へのダ
メージと景観の阻害、住環
境の悪化のみならず、太陽
光発電設備の設置に起因す
る土砂災害等の発生が非常
に危惧されている。

2、1による法整備等の実
効性を高めるため、FIT
法においても、着工してい
ない認定案件は、事業者が
計画地を立地規制の対象と
なる場所から変更する場合
でも、同じ買取価格を適用
すること。

提出先

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、
農林水産大臣、経済産業
大臣、国土交通大臣、環
境大臣

3、太陽光発電設備が
FIT法の認定基準に従い
適正に設置されることを、
国が責任を持って確認する

よって、国においては次の

国が責任を持って確認する

請願

笛吹市各機関における 非行政書士行為排除の 徹底を求める請願

〔請願の要旨〕

行政書士は、行政書士法
の目的である「行政に関す
る手続の円滑な実施に寄与
し、国民の利便に資する」
ため、高度な法的知識およ
び専門知識を身につけるべ
く日々研鑽を重ね業務を行
っている。

がなされないよう行政書士
法の趣旨の徹底とその趣旨
に沿った窓口指導の実施に
ついて、関係機関に御指導
いただきたい、

これらのことから、下記
事項について請願する。

記

また、平成26年6月27日
に公布された改正行政書士
法により、行政書士の業務
はこれまで以上に高度化、
専門化し、行政手続の円滑
な実施および国民の利便性
の向上について、行政書士
に対する社会的要請は一層
高まっている。

1、笛吹市各機関の窓口
において、申請者・届出人等
の本人確認を徹底すること。
2、笛吹市各機関の窓口
において、申請・届出等を代
理又は代行する者が行う場
合は、その者が法定の代理
人であるか否かの確認を徹
底すること。

笛吹市におかれては、行
政書士法および行政書士制
度の趣旨をご理解いただき、
不当な書類作成・提出行為

人事

監査委員の選任

同意

氏名 横山 祥子 (70)
住所 御坂町成田

氏名 宮川 正 (65)
住所 御坂町成田

平成30年9月29日から4年間

公平委員会委員の選任

同意

氏名 堀内 常雄 (63)
住所 御坂町上黒駒

平成30年9月3日から
平成31年12月20日まで

視 察 研 修 受 け 入 れ

栃木県那須烏山市議会 経済建設常任委員会



8月9日(木)栃木県那須烏山市経済建設常任委員会の皆様が『笛吹川石和鶉飼の活用について』の研修のため、市役所を来庁しました。

笛吹市議会からは川村恵子副議長がお迎えし、笛吹市物産連盟事務局長、角田事務局長(笛吹川石和鶉飼保存会事務局兼務)、および笛吹市産業観光部観光商工課観光担当より研修内容について説明があり、その後、新設された鶉飼育小屋「うかい屋」の視察を行いました。



本市の取り組みについて様々な質疑があり、「大変有意義な研修になりました」とのお言葉をいただきました。

総務常任委員会

委員長	古屋 始芳	副委員長	岩沢 正敏
委員	神宮司正人	北嶋 恒男	
	小林 始	渡辺 正秀	
	川村 恵子		

9月14日、18日、21日、25～27日の6日間、委員会を開催。付託された平成30年度一般会計補正予算1件、平成29年度一般会計歳入歳出決算認定1件、過疎地域自立促進計画の変更1件、動産の取得1件、変更契約の締結3件の計7件を審査し、賛成全員で原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

〈総務部所管〉

Q 元号の改元に伴う必要なシステムの改修件数はどのくらいか。

A 市役所全体で26事業あり、今回、予算の補正を要求していないものも含めると、金額的には概算で1、400万円程度掛かる見込み。

Q 防犯カメラの設置台数を増やすことは可能か。

A 防犯上の問題でもあるため、警察とも協議を行う必要がある。

【説明】

防災危機管理課の審査で、所管する防犯カメラの設置状況に関し質問があり、幹線道路沿いや暴力団関係者の対応のため設置されたものが14台ある。防災危機管理課所管以外にも、JR中央線の駅周辺や小中学校にも設置されている、との説明があった。

Q 境川支所が、境川坊ヶ峰ふれあいセンター内に移転し使用されなくなったが、旧境川庁舎の活用方法は。

A 耐震対応ができていない部分は書庫として活用し、

防災センター部分は、会議室等として活用していく。

Q 石和学校給食センターの変更契約は、もっと重い処分が必要だったのではないか。また、このような事態に対し、きちんとした処分の基準を設ける必要があるのではないか。

A 市としてガイドラインの素案の提示があり、これを基にきちんとしたガイドラインの作成を進め、今後は厳正に対応したい。

【説明】

石和学校給食センターの

変更契約は、設計業務を受託した業者の過失も要因の一つとなっているため、設計業者に対して文書指導を行った。

Q 笛吹みんなの広場活用事業に関し、今後、どのような形で事業を進めていくのか。

A 基本設計・実施設計を合わせ、プロポーザル方式で業者選定を行い、今年度中に設計業務を済ませたい。

Q 八千蔵地域等整備事業の進捗状況は。

A 関係4市の費用の負担割合の決定に向け協議している。また、農業基盤整備事業は、県営畑地帯総合整備事業の平成32年4月の採択を目指し準備を進め、溜め池は、この秋から県が浚渫土を利用して埋め立てを行う予定。

Q 関係4市の費用の負担割合の決定に向け協議している。また、農業基盤整備事業は、県営畑地帯総合整備事業の平成32年4月の採択を目指し準備を進め、溜め池は、この秋から県が浚渫土を利用して埋め立てを行う予定。

【説明】

笛吹みんなの広場活用事業の予算財源は、まちづくり基金や合併特例債を充てる予定でいるが、その他にも国や県の補助制度を研究し、積極的に活用したい。

【意見】

笛吹みんなの広場活用事業を進めるにあたり、設計金額や内容に関し慎重に審査を行い、緊張感を持って取り組んでいただきたい。

〈市民環境部所管〉

Q 社会保障・税番号制度システム整備費補助金の補助率はどうなっているか。

A 基本的には10分の10であるが、現段階では国から人口規模ごとの想定事業費として、上限額が暫定的に示されている。



石和給食センター建設現場視察

教育厚生常任委員会

委員長	荻野 謙一	副委員長	武川 則幸
委員	河野 智子	野澤今朝幸	
	中村 正彦	志村 直毅	
	中川 秀哉		

9月14日、18日、21日、25～26日の5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、平成30年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算5件、平成29年度一般会計歳入歳出決算認定1件、特別会計歳入歳出決算認定6件の計14件を審査し、賛成全員8件、賛成多数6件で原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

〈保健福祉部所管〉

Q 生活困窮者自立支援事業で、昨年の同時期より多いが、その背景は。

A 本人相談に加え警察、公園管理事務所等からの話もあり、事業の周知が進んできたと考えている。

Q 就労支援事業で、相談者の人数と実際就労につながった人数は。

A 今年8月分までの実績では、相談が4人で就労された方は4人である。

Q シルバー体操指導員養成事業で、指導員の資格をとった方の活動状況は。

A 3年がかりの養成で、今まで174人を養成し、養成講習参加者は延べ408人。地区ごとに4つの指導グループがあり、地区から要請され、地域で年間164回活動をしている。

〈市民環境部所管〉

Q 一般経費、賃金の増額補正は、どのような内容か。

A 半年間の臨時職員の増員分の賃金および交通費である。

Q 雇用の理由は。

A 秋から事業が一つ増え、

事務的なことを行う職員の手分である。

Q 徴収員用公用車のリース契約期間は、どのようになっているか。

A 最初の5年リース契約が終わり、現在2年の再リースの途中で、車種は軽自動車である。

〈教育委員会所管〉

Q 八代東部プールの解体の今後の取り壊しのスケジュールは。

A 今年度中に設計をまとめ、来年度中に解体したい。

Q 文化施設使用料は予算より多くの歳入だが、来館者の状況は。

A 全体的に増えている状況で、29年度の入館者数は春日居郷土館は2,775人、八代郷土館302人、八田家書院2,021人、青楓美術館2,304人である。



御坂中学校体育館屋根被害視察

建設経済常任委員会

委員長	保坂 利定	副委員長	河阪 昌則
委員	神澤 敏美	渡辺 清美	
	大久保俊雄	前島 敏彦	
	海野利比古		

9月14日、18日、21日、25～26日の5日間、委員会を開催。付託された条例の改正1件、平成30年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算11件、事業会計補正予算2件、平成29年度一般会計歳入歳出決算認定1件、特別会計歳入歳出決算認定11件、事業会計決算認定3件の計29件を審査し、いずれも原案のとおり可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

〈産業観光部所管〉

Q 企業立地促進助成事業の助成金に伴う補助率は。
A 笛吹市企業立地促進事業助成金交付要綱に基づき、投下固定資産額に対し、県は10%、市は新規物件の場合2%、中古物件には1%を助成するもの。
Q このほかに助成事業はあるのか。
A 立地企業には税等の減免制度がある。山梨県では地域経済牽引事業として、不動産取得税の減免制度があり、また、市独自でも固定資産税の減免制度がある。

Q 地産地消推進事業等に伴う、29年度の各直売所の運営状況は。
A グリーンファーム八代、川農産物直売所の3つの直売所は、施設利用人数・収支状況とも横ばいだが、さかいがわ農産物直売所は少し落ち込んでいる。原因は、今後行う予定のモニタリングでしっかり検証していく。
Q 市内4つの直売所が経営状況を話し合うなど、連携等を行った経過はあるか。
A 農産物直売所連絡協議会で、各直売所の運営状況の報告や要望事項の確認などを行っており、また29年度は6次産業化についての研修を開催した。

〈公営企業部所管〉

Q 企業会計決算検証業務の委託に伴う補助金の、税務署との協議内容は。
A 何回か税務署に出向き協議を行った。一般会計から企業会計へ繰り出される出資金は、地方公営企業法第18条で受ける場合は出資金となるが、市の現状では地公法第17条の補助金や繰出金の性質に近い。地公法第18条の出資金として申告するには、企業会計の組入資本金として処理しなければならぬ。今回の補正は市の会計処理が適正なものか、これを検証するため専門家に委託するもの。
Q 水道事業会計・有形固定資産減価償却費の方法等の説明を求める。
A 償却方法は定額法で、償却期間は建物が50年、構築物が10年から18年、機械および装置が8年から17年、工具および備品が4年から8年である。

〈建設部所管〉

いるので、そのまま使用することができるとのこと。
Q 「都市計画図更新事業」の委託料4千300万円の詳しい内容は。
A 旧町村にあった都市計画図は合併以降更新されず、現状と乖離が生じていたが、費用がかかり実施ができなかった。今回の作業は市内の都市計画区域88・2km²を航空測量し、「2千500分の1」の基本図を作成した。併せて、基本図縮小編纂図として、「1万分の1」と「2万5千分の1」の図面をデータ化した。

【意見・要望】

市内に数多く点在する公共施設のトイレの一元管理について、庁内全体で研究し、実現できるように進めてもらいたい。また、石和温泉駅周辺のまちづくりについて、都市計画マスタープランの見直しやコンパクトシティ構想（立地適正化計画）の策定など、しっかりと構想を定め、将来の世代に繋がるような取り組みを期待する。



山梨グルメフェア「ぶどうEXPO2018」
 (8月7日 味の民芸 東久留米滝山東店にて)

山梨うまいもん祭り

2018年8月30日(木)～2018年10月3日(水)
 味の民芸 関東49店舗(一部店舗を除く)で開催

笛吹市議会広報編集委員会より

～ありがとうございました～



平成28年11月14日から、第4期議員の中から選出された委員により笛吹市議会広報編集委員会を構成し、【議会だより49号】から編集を行ってまいりました。

笛吹市議会では任期4年の中で3年目に委員の改選があります。現在の委員で編集作業を行うのは【議会だより56号】が最後となります。

委員長 河阪 昌則

副委員長 河野 智子

委員 神澤 敏美

北嶋 恒男

川村 恵子

志村 直毅

議長 海野利比古（笛吹市議会だより発行に関する条例第8条3項によりオブザーバーとして編集委員会へ参加）





住民同士のつながりを深めよう



春日居町国府 巧
窪田 (区長)

市社会福祉協議会の第三次地域福祉活動に基づき、市内7つの町で「こんな町だったらいいな」をテーマに、取り組みが行われています。

春日居町では「つづけ笑顔のまち春日居」をサブテーマとして、笑顔であいさつ地域行事や、町の

私のひとりごと



八代町北 山田 實
(設備業)

昨年7月上旬に、甲府南高校の同窓会が石和温泉郷の名湯・糸柳で開催されました。懇親会で挨拶しかできなかつた友人に、翌朝、露天風呂で「どこに住んでいるの」と聞かれ、笛吹市八代町に住んでいると答えると、友人は素敵な街に住んでいるねと、笑みを浮かべて言っていました。

笛吹市八代町は、地形的にも自然災害も少なく、緑に囲まれた風光明媚な街で、しかも近ごろス

イベントへの積極的参加呼び掛け、ボランティアの輪を広げ次世代につなげようなど、地域福祉推進委員会が中心となり実践しています。毎年8月には、かすがい納涼盆踊り大会を実施しており、今年も保育所園児や小中学生にも参加いただき、大会が盛り上がりました。私たちの区では、毎年10月に運動会を実施し、区民同士の交流を図っておりますが、高齢化に伴い参加者も年々減少しております。若い世代の方々にも大勢参加いただけるよう創意工夫し、ふれあいを深め、住民同士のつながりが大きくなることを願っています。

マートインターも開通して、利便性も良くなったね、と言っていました。また、モモやブドウは国内では高級果物で、減多に口にできないそうです。私の少年時代のブドウは、甲州とデラウェアが主な品種でした。

私は果物の旬になると、先輩と近所からおすそわけをいただきます。近年はモモやブドウの品種は次々と主役が入れ替わり、大変な時代に突入したそうです。でも、先輩は挑戦し続けると述べていました。

平成30年度一般会計が減少する中、議会の皆さまには大変かと思えますが、市民のために今後も住みやすく、素敵なまちに発展していくよう、ご尽力いただければと願っております。

12月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容(表題)を公開しております。参考にご覧ください。

平成30年第4回定例会本会議の日程(予定)

- 12月 3日(月) 午後1時30分～
本会議(初日)市長行政報告・議案説明
- 11日(火) 午前10時～
質疑および一般質問・付託
- 12日(水) 午前10時～
質疑および一般質問予備日
- 21日(金) 午後2時30分～
本会議(最終日)委員会審査報告・質疑・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。傍聴席へは先着順となります。(傍聴人定員42名)

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継が見られます。放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

編集後記

今夏は、梅雨明けから記録的な暑さの続いた年でした。

今回の「議会だより」は「号」を重ね、現広報編集委員会での最後の発行となります。

「親しまれる議会だより」を目指し、文字の配置、写真の有効活用等、試行錯誤を重ねて参りました。

この編集委員会では、第49号から今回の第56号

まで8回の発行を担当しました。担当期間中の昨年5月には議会広報研修会として広報アドバイザーを講師に招き、編集に磨きをかけたことも記憶に残ります。

終わりになりますが、今期編集委員各位の協力を感謝しつつ、次期編集委員各位の活躍を切に祈ります。

議会広報編集委員会
委員長 河阪 昌則